



**歯切れの良い講演で、とてもわかりやすかったです**

■2018. 8. 7

医療界を取り巻く課題の1つに【地域医療構想】があります。これは、少子高齢化が急速に進み、医療や介護を必要とする高齢者が大幅に増加する中(2025年問題)、それぞれの地域で病床の機能分化・連携を進めていくものです。限られた医療資源を効果的で効率的にどのように配置すれば、患者さんが住み慣れた地域で適切な医療が受けられるかを考えます。そして、ほぼ2次医療圏単位で、医療提供者の自主的な協議が前提で進められます。

先日「地域医療構想調整会議の進め方」と題した講演会があり、医療を担っている責任者として参加してきました。

「ご当地医療」「知多半島方式医療」を実現させ活性化させるためには、1つ1つの病院が自院のレセプトデータ(医療費情報)に直視して、自院の病院改革に向き合わないとも成果は得られないと痛感しました。当院も例外ではありません。

また、当院は知多半島地域医療連携推進協議会の幹事病院でもありますので責任重大だと感じました。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。